

—料理の出現状況—

山口女子大 家政 本田テル子

(目的)

前報で季節による食事内容の変動について、主食及び副食に使用された食品、食品の調理形態からの検討をおこない季節の影響をみた。

今回は料理について、各季節における3食の間に料理の出現状況についての相違がみられるかについて検討をおこなったので報告する。

(資料)

資料は第3、4報と同じものを使用した。資料数は春1,771 (朝, 607; 昼, 562; 夕, 602), 夏2,141 (朝, 737; 昼, 685; 夕, 719), 秋2,269 (朝, 779; 昼, 717; 夕, 773), 冬1,832 (朝, 619, 昼, 591, 夕, 622)である。検討をおこなった料理の種類数は、魚類, 6; 乳類, 5; 肉類, 11; 豆類, 3; いも類, 6; 緑黄色野菜, 9; その他の野菜, 10; 卵類, 3である。

(結果)

出現率が10%以上の料理数は、朝食では、その他の野菜, /; 卵類, /, 昼食では、その他の野菜, /, 夕食では、魚類, 3; 肉類, 2; 豆類, /; 緑黄色野菜, /; その他の野菜, 2である。料理の種類が多く出現するのは夕食で、季節により出現する料理には相違がみられる。サラダは季節、3食を問わず出現率の高い料理である。